ナルコレプシー（居眠り病）を持つ生徒と教育システム

ナルコレプシーの症状への対応方法を知っている教師は、ナルコレプシーの児童への対応について同級生やスタッフに影響を与えることができます。

ナルコレプシーは、治療法が確立していない神経性の睡眠障害で、これは脳が通常の睡眠覚醒サイクルを調節できなくなるために起こります。ナルコレプシーはあまり知られていない病気で、診断例もわずかしかありません。一般的に児童はナルコレプシーと正しく診断される前に、　、うつ病、行動障害、睡眠時無呼吸症候群、およびその他の精神疾患と誤診されることがよくあります。

Wake Up Narcolepsy INC.

504とIEPの比較：お子様は何を必要としていますか？

セクション504：リハビリテーション法

- 差別から児童を保護する連邦公民権法。職業リハビリテーション法
- は児童の学習環境へのアクセス方法に関する計画を提供し、
- 学習の場における平等化のための変革を行い、
- 中等教育以後の教育を継続して受けることができるようにします

参加資格：1) 児童が、1つ以上の生活における主要な活動を著しく制限する身体的または精神的な障害を持っている、2) 当該障害の記録を持っている、もしくは 3) 当該障害を持っているとみなされている

個別化された教育プラン

- 連邦特別教育法。障害者教育法（IDEA）
- は児童の学校における特別教育プログラムに対する計画を提供します
- 児童の教育上のニーズを満たすための個別化された特別教育および関連サービスを提供します
- 児童がK-12（幼稚園から高校3年生まで）の教育システムから卒業した、あるいは同システムの対象年齢の枠外になった時点で終了します

参加資格：1) 児童がIDEAに記載されている13の特定の障害のうち1つ以上の障害に該当し、かつ 2) 当該障害が学業成績および/もしくは学習能力や一般教育カリキュラムをこなす能力に影響を与えている

Wake Up Narcolepsy INC.

PO Box 60293
Worcester, MA 01606
www.wakeupnarcolepsy.org

K-12と大学の両方の環境において、教師は、ナルコレプシーの児童は怠け者ではない、ということを理解する必要があります。教室や、州/地区/大学の試験において適切な配慮を行い、薬物療法、睡眠、および行動について注意深く観察をし、家族をサポートしてください。

配慮

- 怠惰そうに見えても叱らない
- 教室または指定された場所での短時間の仮眠（20～30分）を許可する
- 生徒が眠った場合でも起こさない
- 生徒の目が覚めている状態を保つ助けになるため、生徒が立ち上がったり、動き回ったり、水を飲んだりすることを許可する
- 理解度をチェックし、同級生にノートを付けてもらったり、教師がメモを提供したり、授業を録画したりすることを許可する
- 生徒は動き回って目を覚ましている必要があるため、休憩時間に勉強を生徒に押しつけない
- 生徒の習熟度が改善したら、宿題や課題を減らす
- 生徒の目が一番冴えている時に合わせてテストをスケジュールし、休憩と仮眠のための時間を許可する
- 座席位置や課程を好みで選択することを許可する
- 障害者オフィスと協力する（大学生）

学校の支援があれば、ナルコレプシーの生徒も成功することができます！

リサーチでは、学齢期の児童における慢性的な日中の過度の眠気（EDS）が、以下のような影響を与えていることが明らかになっています。

- 学業成績
- 行動上の問題
- 家族/仲間との関係
- 友人を作る/維持する
- 感情面の福利とコントロール
- 学校活動への関わり
- 教育/スポーツへの参加
- 進路選択
- 仕事への定着
- 身体的な福利と安全